

ふるさと沼津第一



沼津鬻校区の 歴史探索

平成29年11月15日 第8号

発行：第一地区コミュニティ推進委員会



この会報誌は第一地区の歴史発見事業の一環です

もっとも早くから賑わった

商売上手で元気な町 上土町

上土町といえば毎月十五日の「いなり市」が有名。大正9年に、もともとあつた稲荷神社に、京都伏見稲荷神社を勧請し、位を正一位に格上げして祭り、その縁日として始めたことによります。町の振興会が組織され、企画・宣伝をいろいろやりました。いなり市は、良い品を集めて売るといふコンセプト。今でいう「お取り寄せ」感覚。

また銀行から当時二千元を借り、日本初で飛行機から抽選券付き宣伝ビラを近隣に撒きました。これらが当たたりし、あつという間に借金を返済したとか。その後、戦争がはじまり空襲により上土町も一面焼け野原になりました。しかしいち早く復興し、現在に至ります。

上土町といえば、おかみさん会の元気の良さも自慢。平成7年に12名で発足した会は、狐の嫁入りの復活などさまざまな事業を手掛け、上土町にとどまらず、沼津全体を盛り上げています。

上土町の名物 きつねの嫁入り



昭和20年9月 大手町から上土の焼け跡を望む(大野虎雄氏撮影)

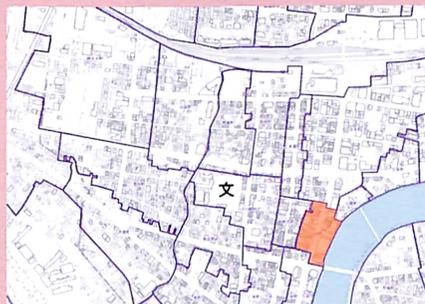


▼いなり市の販売の様子



町名の由来を尋ねる

～上土町～



戦国時代に武田勝頼によって築かれた三枚橋城。この築城の際に掘削された土を揚げた場所が、「揚げ土→上土」となったという。狩野川の屈曲部に当たり交通の要衝として平安のころから栄えていたとみられる記録がある。戦後時代には、三枚橋城の城下町として、また東海道の宿場として発展した。

このコラムは、静岡新聞社発行の「町名の由来」などを参考に作成したものです。

わたしの思い出

あの時のこと

このまちは、この人に聞け！

このコーナーでは小学校の思い出や空襲後焼け野原となったまちが、復興を遂げていくさまなどを、まちの「重鎮」にお聞きします。

○戦後の第一小学校の様子や終戦直後の町の様子などを教えて下さい。

(片岡) 戦中は町内ごとに集まり、軍歌を歌いながら通った。校門には上級生がいて、「歩調を取れー」という掛け声が掛かると、足並みを揃え、校門をくぐった記憶があるよ。戦争が終了する二年前からは、空襲サイレンが鳴るようになり、校庭に集まって集団下校することもあったよ。

第一国民学校(第一小)も爆弾で焼けたし、空襲で亡くなった同級生もいました。当時、学校では、重要なものは穴を掘り鉄板の蓋を付けてしまっていました。おかげで「沼津鬻」の額が今に残っているんだよ。

(大木) 上土町にも焼夷弾が落ち、一面焼け野原になった。いくつか蔵が焼け残ったのみだったが、復興は早かった。バラックの店ができ、家を建てて、区画整理が始まって、どんどん復興していった。行政と喧嘩しながらも(笑) 区画整理に協力して、セットバックして道路を広くし歩道も広く取ったおかげで、今の商店街がある。



思い出を語ってくださった上土町の皆さん。前列は左から、中川寿一さん(78歳) 大木一男さん(84歳) 片岡一郎さん(83歳) 辻泰男さん(77歳)。

(大木) 上土町は、裕福だったんだよね。そして大人が子供をよくかわいがっていた。一度、戦中に子供に芋ほりを体験させてあげようと、裾野まで出かけたことがあった。ところが帰りに警察に当時ご法度だった買い出しと誤解されて、尋問されたこともあったよ。



▲町内小学生を連れて裾野への芋ほりへ



お宝写真コーナー



▲左：昭和33年ごろの上土 右：昭和34年共同防火建築落成時の夏祭り (いずれも「上土町のあゆみ」より)



←昭和20年の通信簿

(いずれも上土町：片岡さん所蔵)



▲沼津女子尋常高等小学校の卒業証書と通信簿【大正8～9年】

求ム！ まちのお宝

昔の写真や資料の情報をお寄せ下さい

1868年、日本最初の近代的小学校とされる代戯館(だいぎかん)が現在の上本通り付近に開設されました。これが沼津市立第一小学校の前身となっています。

平成30年に創立150周年を迎えることを記念して、第一地区コミュニティ推進委員会では、歴史再発見事業を行うこととしました。今年は、いろいろな資料を集めていく予定ですのでご協力をお願いします。

みなさんのお宅に眠っている昔のまちなみの写真や懐かしい道具がありましたら、お知らせください。

